

研究課題名 網膜色素変性に対する喫煙の影響

京都大学医の倫理委員会受付番号 R1557

研究実施期間 倫理委員会承認(2018/6/4)より2020/3/31まで

研究対象となる方とその期間 2012/4/1 から 2018/3/31 の間に当科を受診された20歳以上の網膜色素変性患者さんで、詳細な喫煙歴をお聞きした方

使用するデータ 受診時点での年齢、喫煙歴、視力、視野、網膜断層写真

研究責任者名 眼科教授 辻川明孝

概要

網膜色素変性については現在確立された治療法はありません。また病気の進行を遅らせるため、生活上で何かできることがあるかという疑問にも答えがない状態です。今回の調査ではこれまでの診療でお尋ねした喫煙歴と、その時の視力、視野、光干渉断層計検査の結果を使って、喫煙歴のある患者さんの方が喫煙歴のない患者さんより網膜の状態が悪いのではないかと調べることを調べます。データを使わせて頂くことに対して、ご本人さんにとっては特にメリットはありませんが、もしタバコを吸っていない方の症状が軽いといった結果が出た場合、喫煙している患者さんに禁煙を促すことで進行を遅らせられる可能性につながります。それぞれの方のデータは個人を特定できない形で取り扱いますが、データを使用しないことを希望される方はご連絡下さい。

研究に対する問い合わせと病院の相談窓口

京都大学医学部附属病院 眼科医師 大石 明生 (おおいし あきお)
(TEL) 075-751-3727

病院の相談窓口

京都大学医学部附属病院 相談支援センター
(Tel) 075-751-4748
(E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp